

教育委員会会議録

令和4年1月21日（金） 午前10時00分 開会
午前10時37分 閉会

1 議事日程

別紙のとおり

2 出席した委員等

長谷川洋教育長、佐々憲一委員、塩谷育代委員、岡田豊委員、度會秀子委員

3 出席した職員

横井英行事務局長、稲垣直樹次長兼管理部長、小島寿文学習教育部長
稲垣宏恭教育管理監、加藤文彦総合教育センター所長、高橋亮太総務課長
伊藤尚巳教育企画課長、小清水義晃財務施設課長、坂川智教職員課長
柴田英昭福利課長、大道伊津栄生涯学習課長、栗木晴久高等学校教育課長
伊藤孝明義務教育課長、小林紀彦特別支援教育課長、岩田政久保健体育課長
中島幸一高校改革室長、佐藤孝総務課担当課長、石川陽子総務課課長補佐

4 前回会議録の承認

長谷川教育長が各委員に諮り、前回の会議録は承認された。

5 教育長報告

長谷川教育長が各委員に諮り、報告事項（1）公立学校長の人事について及び報告事項（2）教育委員会事務局等職員及び公立学校教員の懲戒処分については、人事案件のため、非公開において報告を受けることとした。

（1）公立学校長の人事について

非公開において報告されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

（2）教育委員会事務局等職員及び公立学校教員の懲戒処分について

非公開において報告されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

（3）2021年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

岩田保健体育課長が、2021年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について報告。

長谷川教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

[委員の主な意見及び事務局の説明]

(岡田委員)

結果を見ると、小学校男女・中学校男子で全国最下位、中学校女子も全国45位である。小学校男子は、調査が行われなかった昨年度を挟んで7年

連続の最下位である。子供の体力低下は本県に限らず全国的なものだと思うが、愛知県が長く最下位レベルに低迷している理由を自分なりに考えてみた。例えば、自動車保有率が全国1位であること、塾の数が東京に次いで全国2位であること、外国人児童生徒数が全国1位であることなど考えられるが、体力・運動能力と関連づけることは疑問でもある。ライフスタイルが起因するとなると根深いものであると思うが、県としては理由・原因をどのように捉えているか。また、これまで県が実施してきた「体力向上運動プログラム」の効果は検証しているか。

(岩田保健体育課長)

岡田委員の話の内容も要因の一つかと認識はしているが、関連づけることは難しい。全国的に都市圏ほど体力低下が顕著であると言われており、愛知県もその部類に入るのはないかと思う。7年連続最下位ということで愛知県独自の理由もあると思うが、つかみ切れていない。

「体力向上運動プログラム」は今年度新たに動画として作成した。これまでは書面で普及啓発をしており、全学校で活用されているという調査結果は出ているが、継続的に活用されているかは調査していない。指導者が書面で見たものを最初は使っても、継続的に取組を行うというところまではできなかったのではないかと推測する。現在作成中の動画によるプログラムは、タブレット端末を使用し簡単に閲覧することができるため、体育の授業、更には家庭においても活用してもらい、教員や保護者と一緒になって運動に取り組むことができるようにしていきたい。

(岡田委員)

スポーツをする人が多い都道府県の調査では、愛知県は全国4位という結果である。子供と親と一緒にスポーツに取り組めるとよいと思う。

(塩谷委員)

低い数値ではあるが、小学校女子の立ち幅とびが全国平均を上回っている。その要因はわかるか。

(岩田保健体育課長)

種目ごとの結果の要因については把握していない。

(塩谷委員)

『朝食を毎日食べる』と体力合計点との関係」とあるが、最近ファスティングとして、朝食を抜くという風潮がある。朝食は毎日食べていないが、昼食や夕食をしっかり食べるということもある。朝食だけが直結するものであるのか疑問である。朝食以外の食事を調査することは考えているか。

(岩田保健体育課長)

調査は予定していないが、保健体育課において食育の推進を図っている。児童生徒には、「早寝・早起き・朝ごはん」をキャッチフレーズに健康的な生活を送ることができるよう指導している。

(塩谷委員)

生活の形態が昔から変わってきている中で、指導は同じで良いのかという疑問が出てくる。どのような食材を口にしているのかということも調査してもらえると良い。骨の成長には食べ物、適度な運動が不可欠であるため、基礎体力を身に付けるために、適度に、安全に運動できるよう、大人が子供に対して仕向けるような取組をお願いしたい。

(岩田保健体育課長)

基本的な生活習慣である「早寝・早起き・朝ごはん」を身に付けさせた上で、より専門性の高い、いろいろな見地からの健康法や運動の仕方を学べるよう、必要に応じて調査を実施しながら取り組んでいく。

(佐々委員)

一般的に運動ができる子は勉強もできるという統計もあるが、裏を返せば体力低下が学力低下につながるのではないかという懸念がある。学力に関わる統計はあるのか。

(岩田保健体育課長)

運動能力と学力をひもづけるような調査はしていない。学力の高い県においては、運動能力も高い数値であると言われている。

(伊藤義務教育課長)

学力・学習状況調査を行っている。体力との比較はしないが、規則正しい生活を送っている子供は学力が高い。

(度會委員)

新型コロナウイルスにより、学習面では児童生徒にタブレット端末を整備するという動きがあった。体力面に関しても何か動きはあったか。

(岩田保健体育課長)

昨年3月から5月にかけて長期にわたる臨時休業もあり、子供たちの体力が落ちていたのは事実である。学校再開の際に文部科学省から、急激な運動は避けて徐々に慣らすよう指示があった。また、学校生活を再開したにも関わらず、緊急事態宣言を始めとする制限が加わり、従来ほどの運動量の確保ができていない。今後もこのような事態が続くそうであるため、無理せず、種目や運動など内容を精査しながら、慎重に進めていく。

(塩谷委員)

習い事や携帯電話の普及など、子供たちを取り巻く環境の変化も大きな要因であると思う。子供たちの生活の仕方、教育の仕方を総合的な観点から考え直していく必要があると思う。連携や情報交換をしながら、全体で取り組んでもらいたい。

(岩田保健体育課長)

今後も様々な組織や機関と連携しながら、改善できるよう取り組んでいく。

- (4) 令和3年度教育委員会所管1月補正予算(案)について
高橋総務課長が、令和3年度教育委員会所管1月補正予算(案)について報告。

長谷川教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

[委員の主な意見及び事務局の説明]

(佐々委員)

端末を整備するということであるが、使用するソフト等も含んだ費用であるか。

(伊藤教育企画課長)

ワープロソフトや表計算ソフト、オンライン会議ができるソフト等が入っている端末の整備であり、ソフト等も含めた費用である。

6 請願

請願第15号 子どもの進路に関する、進路先の不適切、事例、対応等に関する調査を、求める請願。

長谷川教育長が各委員に諮り、「賛成者なし」により本請願は不採択とされた。

[委員の主な意見及び事務局の説明]

(佐々委員)

中学校から高等学校への受験に関して、学校案内や願書、調査書及び面接等における不適切事例があったという報告は今までにあるか。

(伊藤義務教育課長)

高等学校等への受験に関して、不適切な事例があったという中学校からの報告は受けていない。

(佐々委員)

大学や専門学校において入学者選抜で不適切事例があった場合、どのように対応しているのか。

(栗木高等学校教育課長)

大学や専門学校の入学者選抜は文部科学省や県私学振興室が指導している。入学試験は就職試験と異なり、受検生の学びに関する能力や意欲を評価する性質であるためか、これまで不適切な事例の報告は受けておらず、対応例もない。なお、高校を卒業して就職する生徒だけでなく、進学する生徒に対しても、人権教育の中で面接での不適切な質問に関する指導を行っており、不適切な事例があった場合、関係機関と連携し、対応していく。

(岡田委員)

高校入試における差別等について、例えば入学願書の性別欄をなくすなど、徐々に改善が進んでいるようである。受験についても各学校において適切に実施されていると聞いている。

余談になるが、かつて公立高校入試の面接について、今後の指導に役立てるため、面接内容と質問内容の聞き取りを行った。「あなたの長所・短所を

教えてください。」「人生で一番印象に残っていることは何ですか。」「座右の銘は何ですか。」「最近どんな本を読みましたか。」などの質問があったと記憶している。恐らく面接官は、自分をいかに客観視しているのかということを知りたいのかと思う。当時は当たり前のような感覚でいたが、今では思想・信条に関わる微妙な質問であるとも思える。最近コンプライアンスに非常に厳しくなっているため、質問にも十分配慮する必要がある。

(栗木高等学校教育課長)

受検生の人権に対する配慮を欠くことがないよう、機会を捉えて学校現場を指導していく。

7 議案

長谷川教育長が各委員に諮り、第1号議案 公立学校長の人事については、人事案件のため、非公開において審議することとした。

第1号議案 公立学校長の人事について

非公開において審議されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

8 協議題

長谷川教育長が各委員に諮り、協議題 令和4年秋の叙勲候補者選考については、人事案件のため、非公開において協議することとした。

協議題 令和4年秋の叙勲候補者選考について

非公開において協議されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

9 その他

なし

10 特記事項

- (1) 長谷川教育長が今回の会議録署名人として塩谷委員を指名した。
- (2) 宮崎邦彦氏から、子どもの進路に関する、進路先の不適切、事例、対応等に関する調査を、求める請願。について、口頭陳述したい旨の申出があり、長谷川教育長が、前回会議録の承認後、5分以内に限り口頭陳述することを許可した。
- (3) 傍聴人 2名